

一般会計は
5年連続で
100億円超

平成25年度は、
1. よりいに満足して住めるまちづくり
2. 親身になって応援・協力
3. ひかり輝く、観光・ブランドタウンの実現
を最重点施策に掲げ、「第5次寄居町振興計画基本構想」の「後期基本計画」に基づき、諸施策・諸事業が進められました。
一般会計は、平成21年度以降5年連続で、歳入・歳出ともに100億円を超え、実質収支5億2557万円の黒字決算となりました。



デマンドタクシー

デマンド型乗合タクシーは、平成25年4月から「愛のりタクシー」の愛称で本格運行を開始した。5月からは、利便性を高めるため、利用の1時間前からの予約受付も始めた。



(仮称) 寄居PAスマートICの整備

25年度は、関係する深谷市・美里町・東日本高速道路(株)と連携をとり、地元協議会からの要望事項の調整を行い用地測量に着手した。



男衾駅周辺整備

男衾駅周辺地区では、地元説明会を開催するとともに、都市計画道路の整備に必要な調査と設計を行った。また、駅東口周辺では明神川改修事業の工事に着手した。



太陽光発電設備

庁舎に太陽光発電設備を設置した。昼間は発電した電力を冷暖房設備などの動力設備に供給し、夜間は蓄電池の電力を照明に使用するほか、停電時の対応のためLED照明も配置した。



健康づくりチャレンジ事業

健康診査や健康づくり事業への参加によりポイントを獲得できるが、24年10月から25年10月までのセカンドステージで、100ポイント達成者は前期間より97人増え、258人となった。



小・中学校施設の整備

用土小学校プールろ過装置交換や男衾中学校給水・消火栓設備改修など、交換や補修が必要な学校施設の改善を図り、また工事のために必要な実施設計も行った。



町公式ホームページ

スマートフォンへの対応、本を読む感覚で広報紙を閲覧できるウェブブックなどの機能を追加してリニューアルした。また、要望のあったSNSのフェイスブックを取り入れ、町からの情報発信、最新情報の提供に努めた。

一般会計決算に対し、 討論がありました



「先行きが不安」等の声に応える町政を

田母神節子議員

少子高齢化と人口減少の当町の現実に町民が安心できる有効な施策がとられていない。若者が定住する町づくりのための雇用確保等、高齢者が元気で長寿を全うできるようにするための保健医療介護の充実等が急務。また、同和関係予算の早期解消と住宅貸付金の滞納者への返済(利息なしで貸している)は、責任を持って実行することが必要ではないか。

町民からの貴重な税金を有効に使ってほしい

津久井康雄議員

特産品開発推進事業農産物加工施設維持管理運営委託料に1555万500円支出されているが、毎年1500万円の業務委託金の支出をいつまで続けるのか。事業検証をすべきである。また伝統行事の伝承促進事業として交付している補助金は1団体1万円(計5万円)。新規事業の流鏝馬に202万円の予算をつけるより、無形民俗文化財の保護・伝承に予算をつけるべきである。



個人住民税の納税率アップを大いに評価

瀧澤 忍議員

個人住民税の納税率が、県内町村で一番の伸びであったことは関係職員の日頃の努力の賜物であり、大いに評価する。しかし当町にも人口減少、少子高齢化の波が押し寄せており、厳しい財政運営が強いられることは間違いない。執行にはこれまでの事務事業について徹底的に見直しを行い、限りある財源を効果的かつ効率的に活用し、最大限の成果が得られるよう一層の努力を要する。

次のページは「平成25年度特別会計決算を認定 国保会計依然厳しい状況」